

J-ARISE 通信 vol.6

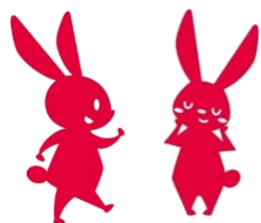
2019年3月発行

寒さの中に春の気配を感じる頃となりました。新元号の改元も近づいてきており、時代の節目を感じます。今回の通信では、ラダーの改定に関するを中心にお知らせしたいと思います。

1. 2019年4月からJ-ARISE クリニカルラダーが改定されます。

2016年に発表された日本看護協会版 看護師のクリニカルラダー(以下、JNA ラダーとします)を踏まえてJ-ARISE クリニカルラダーの見直しを実施しました。

J-ARISE クリニカルラダーの主な改定点は以下の3点になります。



- ①看護展開力の評価内容の文言に「スピリチュアル」を加えました。
- ②地域包括ケアの視点をふまえて、マネジメント力と対人関係力の到達目標と評価内容の見直しを行いました。
- ③「意思決定を支える力」を看護倫理力に含み、ラダーごとの到達目標と評価内容を定義しています。

JNA ラダーは、看護師の実践能力に焦点を当て、「看護基礎教育で培われる共通の論理的な思考と正確な技術を基盤にし、その基盤を基にケアの受け手のニーズに応じた看護を臨地で実践する能力」と規定していることが特徴です。右記の4つの実践能力で構成しています。

JNA ラダーを構成する4つの力	
意思決定を支える力	ニーズを捉える力
協働する力	ケアする力

看護職は、対象者の最も身近な医療職として関わることにより、苦痛、不安、苦悩等の患者や家族の抱える問題にいち早く気付くことが求められています。そして患者と 家族の尊厳を守りながら、その人らしく最期まで人生を全うできるよう支援するための看護を提供する必要があります。特に、その人らしく人生の最終段階を全うするためにどのような医療を受けたいか、受けたくないかの意思決定の支援は非常に重要になります。

右ページの表は改定された看護倫理力の定義及び各ラダーの到達目標と評価内容です。赤字は今回改定した箇所になります。

2. 研修の名称が一部変更されます。

研修名称の変更に関しては、別紙「J-ARISE キャリアパス」をご参照ください。

3. 2020年度からラダーIV申請者研修に新しく「看護倫理研修【3】」が開講されます。

看護倫理力に新たに「意思決定を支える力」が含まれたため、2020年度を目標に看護倫理研修【3】が開講される予定です。そのため2020年度からラダーIV認定の要件には、「看護倫理研修【3】の修了」が加わります。

看護倫理研修【3】の開講に伴い、ラダーIII申請者研修で「当面未開講」としていた「スキルアップ研修【2】」は開講しないことになりました。

表:看護倫理力の定義及び各ラダーの到達目標と評価内容 (赤字は改定箇所)

看護倫理力:豊かな感性をもち、倫理的課題に気づき対応できる力/倫理的視点をもって意思決定を支える力	
ラダー I	○看護実践を通して、指導を受けながら看護倫理綱領の内容を意識し行動することができる。 ○患者・家族の意向を知り、関心を寄せることができる。
ラダー II A	○看護実践を通して、指導を受けながら倫理的課題に気づくことができる。 1. 患者・家族に対する説明責任を理解し、実践できる。 2. 看護行為により患者の生命に危険を脅かす可能性を認識し行動することができる。 3. 専門職業人として自覚を持ち、日本看護協会の倫理綱領に基づいた行動が取れる。 ○患者・家族の意向を看護に活かすことができる。 1. 患者・家族の思いや考え、希望を意図的に確認することができる。 2. 確認した思いや考え、希望をチームで共有できる。 3. 患者・家族の意向を看護計画に反映し、実践することができる。
ラダー II B	○看護実践を通して、倫理的課題を主体的に気づくことができる。 1. 専門職業人として自覚を持ち、日本看護協会の倫理綱領に基づいて看護実践の振り返りができる。 2. 患者・家族に生じている倫理的問題に気づくことができる。 ○助言を受けながら、患者・家族の意思決定プロセスを支援することができる。 1. 患者・家族の価値観を尊重した態度で接することができる。 2. 患者・家族に対し、治療・検査・療養場所等に関する十分な情報が提供されているかアセスメントし、評価できる。 3. 患者・家族の意向を多職種に代弁できる。
ラダー III	○看護実践を通して、所属部署チームの倫理的ジレンマに気づき、倫理的課題を明確化できる。 1. 倫理原則に基づいて状況をアセスメントし、倫理的課題を明確にすることができる。 ○主体的に患者・家族の意思決定プロセスを支援することができる。 1. 患者・家族の価値観を尊重した態度で接し、希望する治療・検査・療養場所等を選択できるように支援できる。 2. 患者・家族の意思決定に伴うゆらぎを共有でき、選択を尊重できる。
ラダー IV	○看護実践を通して、所属部署内・外の複雑な倫理的課題を明確にし、それに対する対処行動がとれる。 1. 倫理的課題の顕在化を図り、適切なリソースの活用や相談行動・コンサルテーションを実施できる。 2. 倫理的課題について、検討シート等の枠組みを用いてチームで検討することができる。 ○複雑な意思決定プロセスにおいて、多職種も含めた調整的役割を担うことができる。 1. 患者・家族の意思決定プロセスに看護職の立場で参加し、適切な看護ケアを実践できる。
向上目標	○看護実践を通して多職種チームの複雑で解決が困難な倫理的課題を明確にし、患者・家族の意思決定を支え、それに対する実施・評価ができる。

◆2019年度 ラダーIV申請者研修マネジメント研修【3】JONNAVI 受講申込み受付中です。

2019年度のマネジメント研修【3】は5月17日(金)及び6月18日(火)に実施します。両日、半日の受講が必要です。研修内容はJONNAVIをご確認ください。

JONNAVI 申込み期間は3月1日(金)~4月5日(金)です。



次回のJ-ARISE通信は2019年5月頃を予定しています。

看護職キャリア支援センター発行

